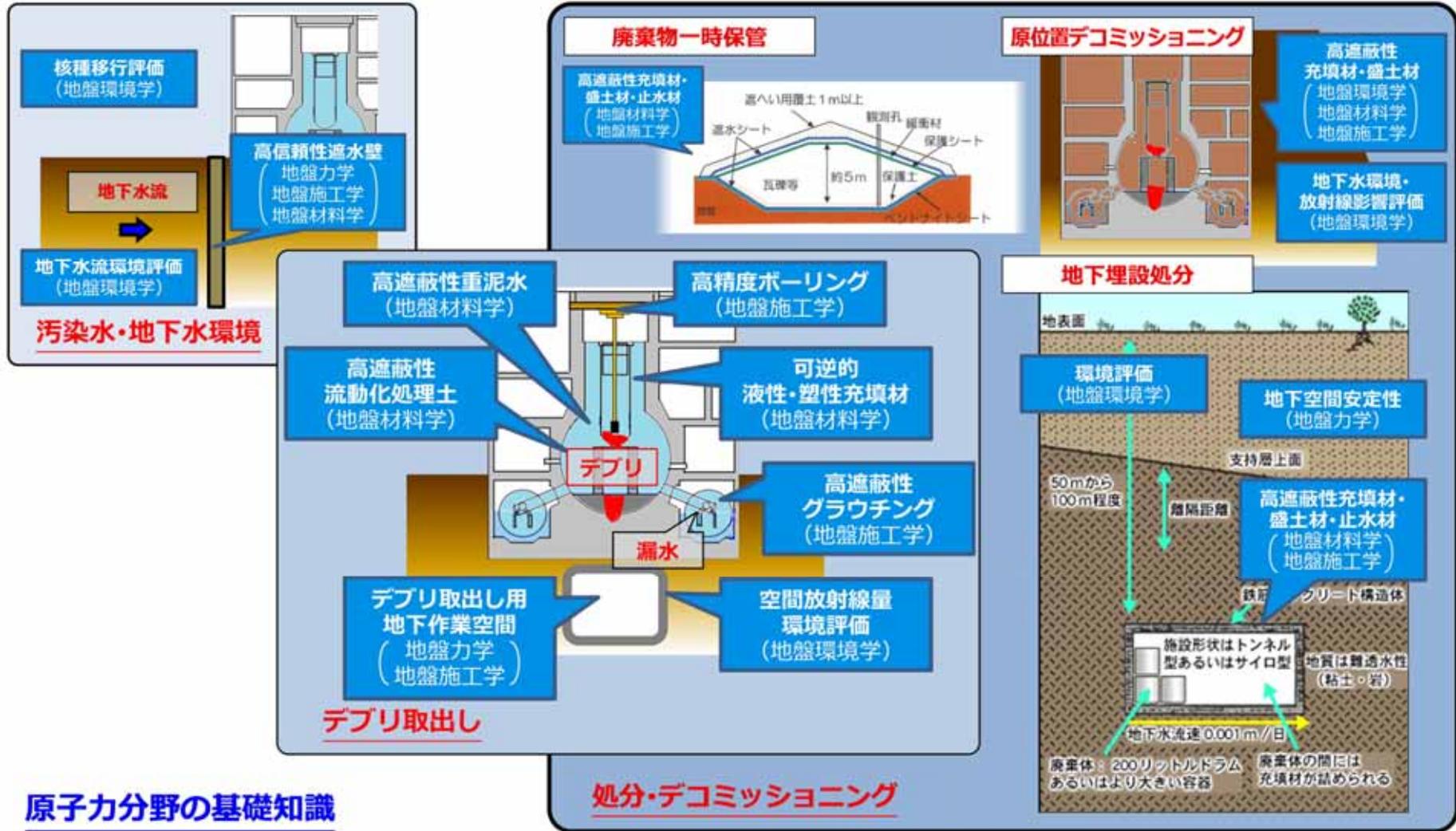


資料 06

総括および今後の展望

廃炉地盤工学として、地盤工学技術が貢献できると考える廃止措置までの事象の例



個別基盤研究項目

■ 地下水の現況測定・将来予測

- 地下水・放射性物質の移行調査技術と地下水・放射性物質の流動解析技術による広域な現況評価と将来予測
- 多重バリアを含む高信頼性の地下水流遮断技術
- 自己診断機能付き遮水材を活用した汚染水保管施設

■ デブリ取り出し補助技術

- γ 線，中性子線遮蔽性に優れた格納容器冠水材料
- 格納容器の水漏れ箇所対応と空間放射線量減少ができる再掘削可能な原位置固化充填材料
- 液性と塑性に可逆的に変化できる新重泥水・泥土材料

■ 処分・デコミッションング

- 放射性廃棄物処分で開発してきた地盤工学技術を活用したデブリの地中処分と原子炉建屋デコミッションング技術の開発

まとめ

- 学術としての地盤工学の視点から意見を発信
- 委員会ネットワークを利用して、主体的に廃止措置に必要な技術を開発
- チームを作って、様々な技術開発プロジェクトに、主体的に申請
- 廃炉プラットフォームを通じた実務への展開
- 技術マップの展開：現場コンサルティングへの対応